

CSR REPORT 2024

夢はこび、未来へつなぐ。



株式会社 辰巳商会

<https://www.tatsumi-cs.co.jp>

本社 〒552-0021 大阪市港区築港4丁目1番1号

発行 株式会社辰巳商会 CSR推進室



この印刷物は、環境に配慮した用紙を使い制作しています。
また、Non Vocインキを使用し有害な廃液を排出しない
「水なし印刷」方式を採用しています。

CSR REPORT 2024

夢はこび、未来へつなぐ。



基本理念

- 1 | 安全はすべてに優先する
- 2 | お得意先への報恩感謝
- 3 | 従業員の福祉の向上
- 4 | 地域社会への貢献

CONTENTS

Introduction

基本理念	1
トップメッセージ	3
価値創造の歴史	5
事業概要	7
数字で見る辰巳商会	9

Sustainability

サステナビリティ活動宣言	12
6つのマテリアリティ	12
安全・安心	13
環境	15
従業員満足・ジェンダー平等	17
特集1・イチゴ栽培事業	19
特集2・通関士資格取得支援制度	21
特集3・女性社員クロストーク	23
地域社会	25
コンプライアンス	27
技術革新	29

Corporate profile

会社概要	30
グループ会社	30
編集後記	30

編集方針

辰巳商会は、お客様や取引先様をはじめとしたステークホルダーの皆様にご理解いただくために、2023年度からCSRレポートを発行しています。

2022年に特定した6つのマテリアリティ(安全・安心、環境、従業員満足・ジェンダー平等、地域社会、コンプライアンス、技術革新)をもとに活動内容を掲載しているほか、新たに社員の声を紹介する特集ページを充実させました。当社の多岐にわたる活動をより見やすく、わかりやすくお伝えすることを編集方針として当CSRレポートを制作しています。

報告対象期間 2023年度(2023年6月1日～2024年5月31日)
※一部、対象期間外の情報を含む

報告対象組織 株式会社辰巳商会(一部グループ会社の数値を含む)

Top Message

物流で社会を支える企業で
あり続けるために
人的資本経営を推し進め
企業価値の向上を目指します。

代表取締役社長

西 豊樹



辰巳商会は1920年(大正9年)9月に創業、戦争や経済危機、大規模災害などを乗り越え、今年で創業105年目を迎えました。今日まで事業を継続出来ているのは、数多くのお得意先様のご支援と、当社およびグループ会社の諸先輩方や従業員、協力会社の皆様、ならびに近隣住民の方々のご協力の賜物です。多くの人に支えられてきた104年といえます。社を代表し改めまして心より感謝申し上げます。

おかげさまで辰巳商会は、海運、港運、倉庫、陸運、航空貨物輸送、プラント輸送を国内外で展開する総合物流会社へと発展を遂げることができました。企業業績も順調に推移しており、新しい投資を計画的に実施することで、更なる発展を目指します。

■ 人材育成

今後の発展に向けた取り組みの一つとして、2025年4月より新しい人事制度をスタートさせます。当社が長年にわたり培ってきた文化や歴史をベースとしながら、目まぐるしい社会情勢の変化に対応すべく、「人材の育成」を主眼に置いています。人的資本経営をより一層進めることで、企業価値を高めてまいります。

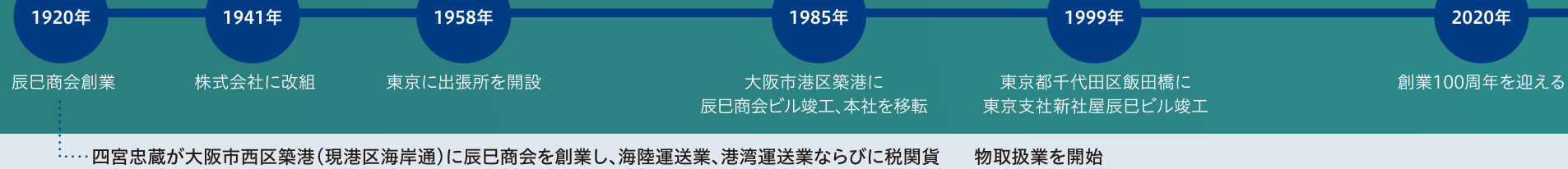
■ 当社のCSR活動

人材育成に加え、従業員の健康増進の取り組みを進めており、本年4月には健康経営優良法人の認証を取得しました。環境面ではCO₂や廃棄物の削減のため、新たなマネジメントシステムを取り入れ、環境認証の取得を目指しています。また、本年8月の「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」の発表は記憶に新しいところですが、当社は重要なインフラである物流を担う企業として、BCP(事業継続基本計画)を再構築し、有事にも社会を支える体制を整えています。

■ 持続可能な社会を実現するために

これらCSR活動は、ひとえに当社やグループ会社のみならず、社会全体がこの先も持続可能な存在であるためのものです。ステークホルダーの皆様のご理解やご協力を得ながら、地道に進めていきたいと考えます。引き続き当社、グループ会社の活動にご理解をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

Introduction 価値創造の歴史



港湾運送事業



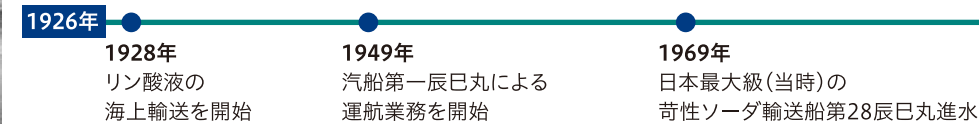
港運部

大阪港シェアNo.1企業として、コンテナヤードの環境対応を牽引。



内航海運業

岡山・柵原鉱山の硫化鉱石を輸送開始



海運部

無機化学工業製品輸送国内No.1。特殊貨物に特化した豊富な船団による合理的で安定した配船。



倉庫業

大阪市港区第三突堤に、戦後港頭地区新設第1号となる倉庫を竣工



倉庫部

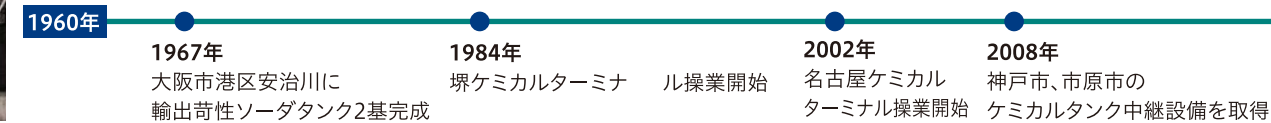
大阪港、神戸港を中心に全国の倉庫で付加価値向上を目指しDX推進。



貨物自動車運送事業



ケミカルターミナル事業

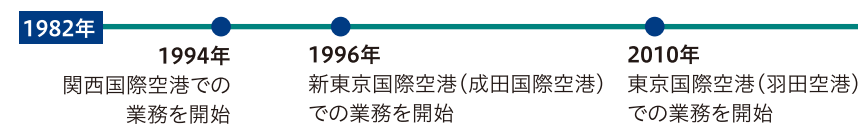


陸運部

大阪府堺市や名古屋市など全国各地でタンク基地を運営。有機・無機の液体化学薬品や高圧ガスなどを安全輸送。



航空貨物輸送事業



航空貨物部

60カ国以上の現地法人・代理店と提携、輸出入の代理店業務や通関業務を拡大。



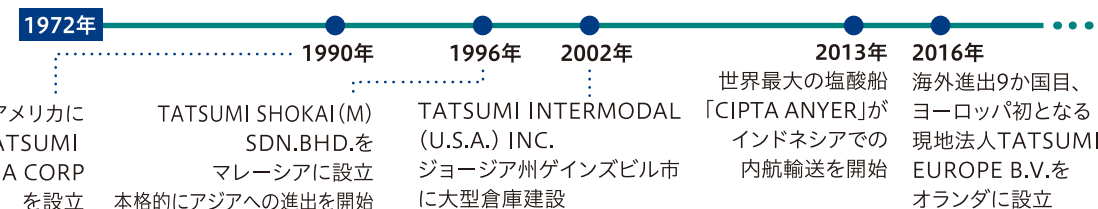
プラント輸送事業



プラント部

世界各地での豊富な実績を持つプラント輸送のエキスパート。

海外進出



海外進出

海外グループ会社を8カ国14社に展開。

社会的要請に応え続けた

100余年の歴史



1925(大正14)年元日、恒例の住吉神社参拝(後列右から4人目が四宮忠蔵)。左端の人の法被に辰巳商會の「辰」の字が見える。

Introduction 事業概要

暮らしと企業活動を支える社会インフラの構築に取り組んでいます。

港運部

■ 事業内容

主な事業
コンテナターミナル
オペレーション

事業所
大阪

日本最大級1,400m
連続コンテナバース

■ 事業の強み

- 大阪南港で日本最大級の1,400m連続プライベートバースを運営
- ヤード背後地のCFS上屋運営(コンソリデーション・一般輸出入貨物取り扱い)
- 国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の中核となる大阪夢洲1,350mの高規格コンテナターミナル運営参画

ハイブリッド
トランスファークレーン
導入 **73%**以上

ISO9001
認証取得

航空貨物部

■ 事業内容

主な事業
フォワーディング、通関業

事業所
大阪、東京、成田、羽田、関空

IATA認定
航空貨物代理店

■ 事業の強み

- 経験豊富な通関士が多数在籍しており、手続きの簡易化、コスト面へのアドバイスが可能
- 貿易書類の作成から梱包、保管、仕分け作業まで一貫して提供
- 24時間稼働の関西国際空港では夜間発着便活用にも対応

海外の業務提携現地法人・
代理店 **60カ国**

海運部

■ 事業内容

主な事業
硫酸、苛性ソーダ、塩酸、過酸化水素、一般貨物、セメント、鉱石等の海上輸送

事業所
大阪、東京、青森、福島、香川
他

硫酸、苛性ソーダ用
特殊タンカー隻数
国内No.1

硫酸、苛性ソーダ
輸送量、取扱量
国内No.1

ISM 認証取得

■ 事業の強み

- 特殊タンカーを多数所有する化学工業製品輸送のエキスパート
- 荷主企業の場合内や周辺に営業所を設置
- 海上輸送・積み卸し荷役・中継タンク・タンクローリーによる陸上輸送と、社会のインフラを支える化学工業製品の物流をワンストップで提供

プラント部

■ 事業内容

主な事業
大型特殊機器、小型精密機器など、プラント建設資材のフォワーディング

事業所
東京、佐賀

ベトナム国家プロジェクト
累計貨物量 **150万t**

■ 事業の強み

- アジア、インド、中近東、ロシア、欧米等の豊富な輸送実績
- 近年トレンドのモジュール輸送にも対応
- 貨物の特性を熟知し、安全なルートの確保、時に障害物撤去を伴うルートの整備など困難な輸送にも対応

グローバルパートナー
100社以上

陸運部

■ 事業内容

主な事業
液体化学品(有機・無機)および高圧ガスの陸上輸送、ケミカルターミナル、危険物倉庫の運営

事業所
大阪、東京、福島、神奈川、静岡、愛知、兵庫、岡山、山口、大分

ケミカルターミナル
国内シェア **30%**

ケミカルターミナル
CDI-T 認証取得

Gマーク
認定事業所

■ 事業の強み

- 国内陸上輸送から輸出入通関、海上輸送までの一貫体制
- DXを推進し各車両の運行状況をリアルタイムでモニタリング
- ケミカルターミナルの全国シェア30%

倉庫部

■ 事業内容

主な事業
倉庫業(非鉄金属・機械・紙パルプ・製鋼原料・機密文書保管 他)

事業所
大阪、茨城、神奈川、兵庫、岡山、愛媛 他

大阪南港内唯一の重量物用
40t 吊り天井クレーン

グリーン経営認証
取得

■ 事業の強み

- 全国倉庫スペース270,000㎡の約9割をLED照明化
- 海外関連会社(北米・東南アジアなど)との事業連携
- 自社内航フリートを活用した海倉陸一貫輸送

辰巳 商会 主な6 事業

数字で見る辰巳商会 At a Glance

2023年6月
 ▼
 2024年5月


 創業 **1920** 年


 資本金 **7.5** 億円

従業員数
 (2023年度)
 







グループ全体 **3,295** 名
 単体 **883** 名


 育休
 復職率 **100%**

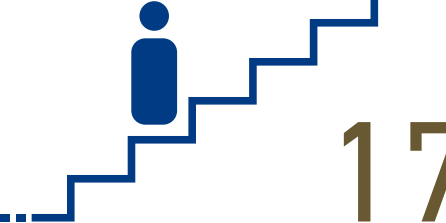

 育休取得率(男性) **46%**

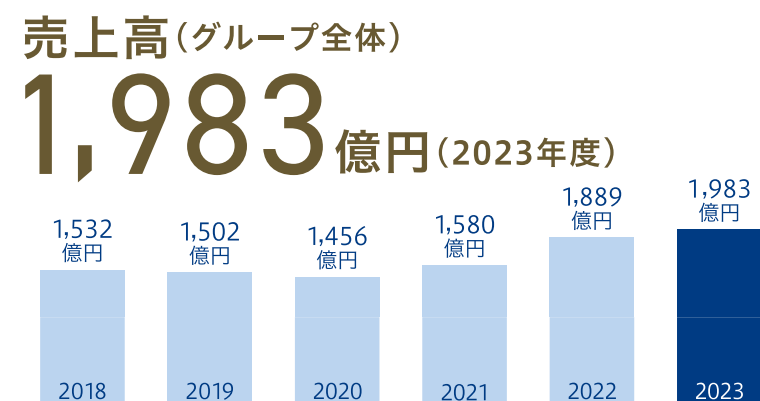
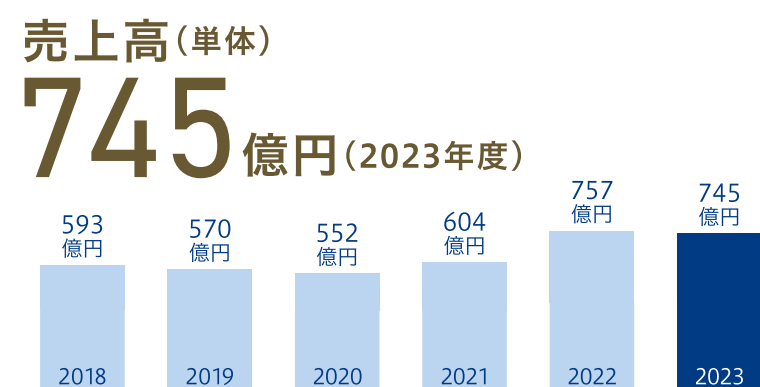

 育休取得率(女性) **100%**

男女比
 
 男性 **77%**


 女性 **23%**

平均年齢
 
44 歳

平均勤続年数
 
17 年




 通関士勉強会の
 参加者数 **30** 名

2023年通関士試験
 合格者数 **3** 名 (女性:2人、男性:1人)


 平均残業時間
20 時間


 有給取得率
72%


 新卒3年以内
 離職率 **19%**

グローバルネットワーク



Sustainability

Six Materialities

持続可能な成長と社会課題の解決の両立を目指して
6つのマテリアリティを特定し
サステナブルな社会の実現に向けて
取り組んでいます。

サステナビリティ

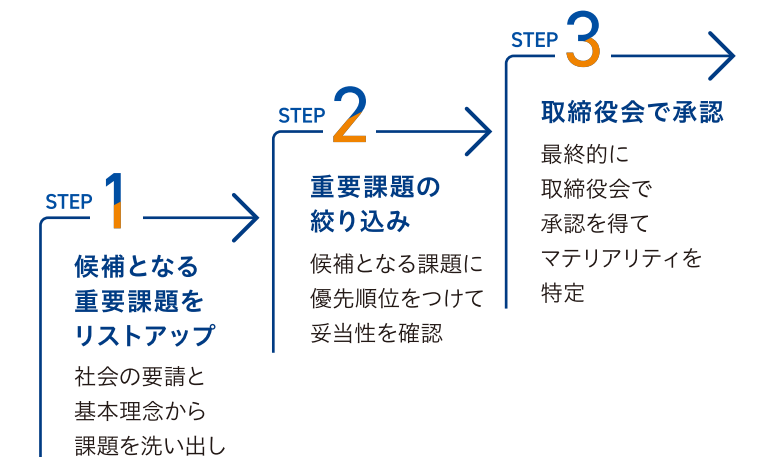
■ サステナビリティ活動宣言

辰巳商会は、1920年の創業当初から、物流事業を通じて社会課題に取り組んできました。企業価値の向上と中長期的な成長を目指し、2022年サステナビリティ活動宣言を行いました。

この宣言を機に環境や人権の問題に一層取り組み、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

■ マテリアリティの特定プロセス

辰巳商会は、基本理念を念頭に、社会課題への取り組みをより強固にする目的で、2022年6つのマテリアリティ（重要課題）を特定しました。



マテリアリティ

01



安全・安心

安全はすべてに優先する

当社では、基本理念の最初に掲げている「安全はすべてに優先する」を経営の最重要事項としています。従業員が安全で安心して働ける環境づくりを行うと共に、大切な貨物の保管、運搬の安全性を徹底し、安全・安心の物流体制を構築しています。



具体的な取り組み

中央安全衛生会議

当社は、基本理念の第一に「安全はすべてに優先する」を掲げ事業を行っています。この基本理念に則り、社長直下の組織として中央安全衛生委員会と中央安全衛生事務局を設置しています。2024年度のスローガンを『忘れるな！基本動作と危険予知 基本に忠実 安全作業』とし、『小事故の撲滅』を最重点課題として安全衛生への取り組みを継続的に進めています。年2回開催する「中央安全衛生会議」では、全社の安全衛生に関する取り組み状況の確認、無事故・無災害の事業所や業務・職場環境の改善提案に対する表彰、安全衛生に関連する講演等を実施しています。



定期的に実施している「ロックピン施錠確認」キャンペーン

コンテナ運送時の転倒防止対策の一環として「ロックピン施錠確認」キャンペーンを実施しています。また、ドライバー、運行管理者等関係者へ安全講習、WEB研修会を定期的に行い、輸送現場での安全意識の維持向上に努めています。



ロックピン施錠確認の様子

事業継続への取り組み

大規模災害や、新型コロナウイルスなどの感染症の流行が事業や従業員に与える影響は甚大です。そのため、従業員の安全確保と事業が継続もしくは早期に復旧できる体制を整えるため、BCP（事業継続基本計画）を策定しています。また、災害対応マニュアルの整備や非常用キットの配布、災害訓練を行い、危機管理に努めています。



災害対策本部 立ち上げ訓練の実施

2024年5月に大阪府、兵庫県での大規模地震を想定して、BCPに基づいて本社と東京支社それぞれに役員が中心となって災害対策本部立ち上げ、オンラインでの訓練を実施しました。

個人用帰宅者キットの配布

災害時に徒歩の帰宅に備え、従業員に帰宅者キットを配布しています。帰宅時に必要な最低限の品目を選定しています。悪路での転倒を防止するため、リュックタイプになっています。



本社ビルが地域の津波避難ビルに指定

本社ビルは大阪市港区の津波避難ビルに指定されています。近隣には観光スポットがあることから、国内だけでなく海外からの観光客も収容することを想定し、災害備蓄品の中にはハラル認証品を含めています。



海運部における安全航海への取り組み

海運部では毎月5日、船内において安全衛生会議を実施しているほかに、船舶の定期検査に合わせ陸上職員と海上職員（船員）合同の安全教育を行い、安全意識を高めています。2024年9月に行われたセメント船神風丸の合同安全会議においては、当社従業員だけでなく荷主様にもご参加いただき、過去の実験事故事例から事故発生の原因や再発防止策について討議を行いました。事故を知らない新たな世代にも知識を共有し、安全航海に向けた取り組みを継続していきます。



マテリアリティ

02



環境

脱炭素・省エネルギーを追求

温暖化対策が世界的な課題となる中、サプライチェーン全体としての課題解決に貢献できるように脱炭素や省エネの取り組みを進めています。環境経営方針を策定し、エコアクション21認証取得に向けた活動を本格化させるなど、環境負荷の低減に取り組んでいます。



Materiality



具体的な取り組み

環境経営方針と推進体制

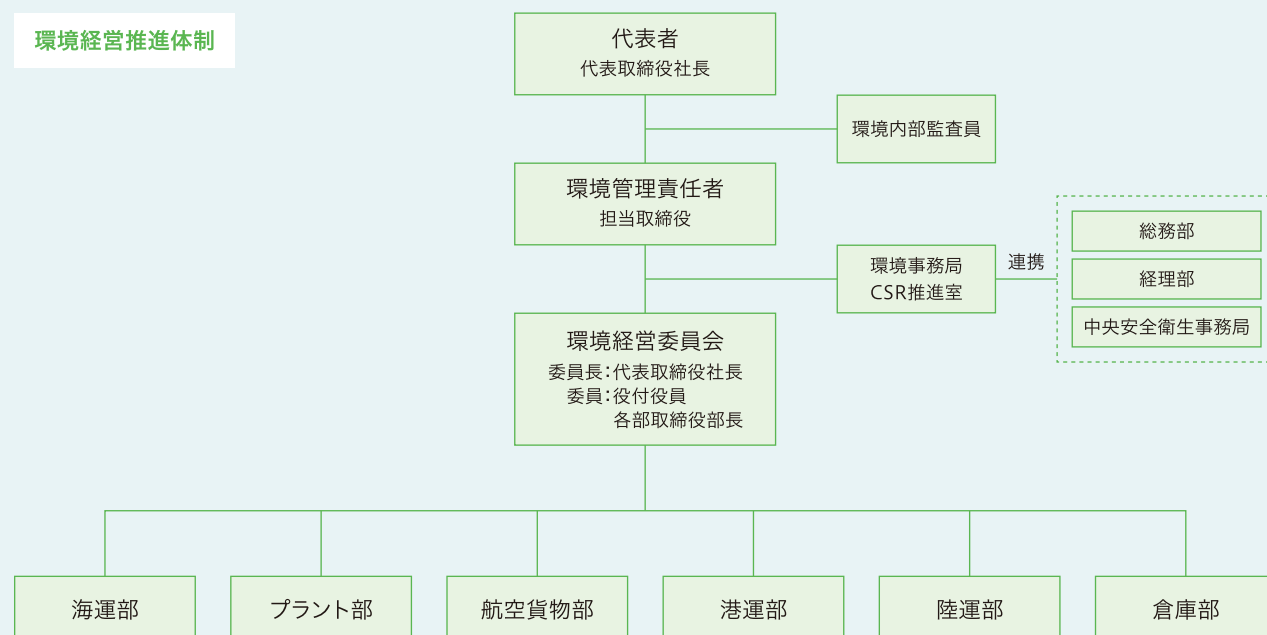
環境経営方針

物流というエネルギー消費が大きい事業を営む当社は、地球環境問題を事業上の重要課題と認識し、企業活動に伴う環境汚染防止と環境負荷低減の取り組みを進めています。エネルギー効率の向上や廃棄物の削減などに取り組み、社会基盤ともいえる物流事業が環境保全と併存する社会の実現に貢献していきます。

エコアクション21認証取得に向けた活動を開始

当社ではこれまで国内18拠点において「グリーン経営認証」を取得してきました。新たに全社認証である「エコアクション21」（環境省策定）の認証取得に向けた取り組みを進めています。

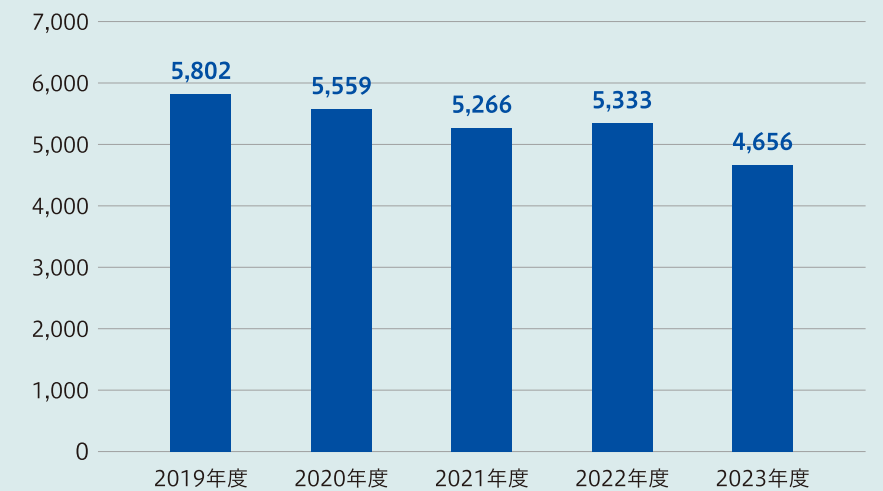
環境経営推進体制



省エネ法定定期報告の状況

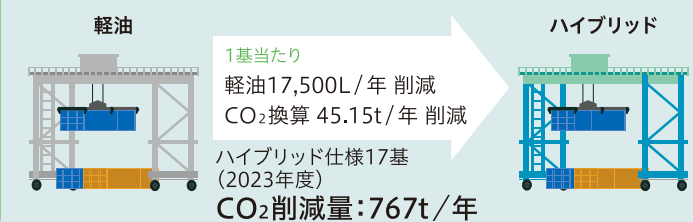
エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（省エネ法）において、一定規模以上のエネルギーを使用する事業者として、事業場内で使用するエネルギー（事業場外を走行する船舶・車両の燃料を除く）を毎年報告しています。この省エネ法報告をもとに、省エネ取組状況のクラス分け評価が行われ、当社は2021年度報告から3年連続でSクラス評価を受けています。

■ 省エネ法報告 エネルギー使用量推移（原油換算kℓ）



環境対応のハイブリッドトランスファークレーン導入を推進

大阪咲州にある当社南港コンテナターミナルには23基のトランスファークレーンが稼働しています。環境配慮という観点から、2012年より設備更新のタイミングで、ハイブリッド仕様に入れ替えを進め、2023年度時点で17基を入れ替えました。ハイブリッド仕様は従来型よりも導入コストは大幅にアップするものの、年間767tのCO₂削減を実現しています。大阪港最大のコンテナターミナルを運営するリーディング企業として、環境負荷低減に向けた取り組みを推進しています。



トランスファークレーン
ハイブリッド率
73%以上

名古屋ケミカルターミナル新事務所棟屋上に太陽光パネルを設置



2024年4月に完成した名古屋ケミカルターミナル新事務所棟の屋上に太陽光パネルを設置しています。事務所内の60～70%の電力を賄うことができるほか、蓄電池を備えているため、災害などの停電時には事務所内の照明やPCなど最低限必要な設備を24時間程度稼働させることが可能となっています。

マテリアリティ

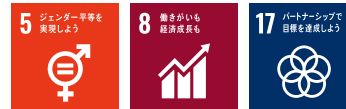
03



従業員満足・ジェンダー平等

一人一人が輝く企業へ

従業員は、企業の価値創造を担う源泉であり欠かせない存在です。その能力をフルに発揮できるよう、やりがいを感じながら安心して働ける環境づくりを進めています。ライフスタイルに合わせた働き方やジェンダーの格差をなくしていく取り組みなど、一人一人が輝ける職場づくりを推進しています。



個々の成長と組織力向上を促す人材育成の取り組み

企業の持続的な成長には人材の育成は欠かせません。その取り組みとして、階層別研修、法務研修を実施し従業員個々の能力の底上げを促しています。さらに専門知識習得のため、通関士や、ビジネス・キャリア検定の資格取得を推奨しており、通信講座の費用やテキスト代などを支援しています。

人的資本経営

企業が従業員を重要な資本とみなし、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上を目指しています。

階層別研修

課長代理研修
係長研修
主任研修
若手研修
新入社員研修

※年度内にフォローアップ研修も開催

人事評価者研修
※管理職

組織
マネジメント力
+
スキル

法務研修

契約法務研修
Web開講

詳細記事→P.28

ハラスメント研修
コンプライアンス研修

全職員対象(2回/年)

業務遂行力
+
知識

通関士勉強会

社内講師が全20回超の問題集を作成、添削と指導を実施。
2023年度:30名参加

特集記事→P.21

ビジネス・キャリア
検定受検支援

ビジネス・キャリア検定試験の各科目についてのテキスト代と受検費用を会社負担

キャリア
アップ

OFF-JT

自己啓発支援

健康経営の取り組み

当社では、従業員の健康を重要な経営資源の一つであると考え、積極的に従業員の健康づくりに取り組む証として「健康宣言」をおこない、2022年に「健康宣言」事業所に認定されました。具体的には、「定期健康診断受診率100%の実現」、「保健師による健康指導や管理」、「長時間労働の防止とワークライフバランスの実現」を推進しています。

また、特に優良な健康経営を実践している企業を表彰する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人 2024（大規模法人部門）」に認定されました。



産業保健師導入

従業員の福祉の向上をはかるため、2023年度より産業保健師を導入しました。医学専門的な知識をもって健康診断結果をもとに保健師面談を行うほか、再検査の受診勧奨などを行っています。今後は健康意識の向上を目的としたセミナーを実施していく予定です。



産業保健師

船内環境の整備

全員に個室を提供

プライベート空間として全員に個室が与えられます。各個室にはテレビと冷蔵庫が備え付けられ、快適に生活することができます。



容量無制限の船内Wi-Fi完備

プライベート空間の充実のために、各船に容量無制限の船内Wi-Fi環境を整えています。



育児休業の取得

当社では、男女ともに育児休業を取得しやすい環境整備に取り組んでいます。男性の育児休業取得についても年々社内の理解が広がり、2023年度は5名が取得しました。

VOICE

24時間子どもの成長を見られる喜び。部下にも取得を勧めたい。

今回、子どもが生まれてすぐ、育休を2か月取得しました。もともと育休制度のことは知っていたため、取らないという選択肢はありませんでした。取得する際、周りに申し訳ないという気持ちもありましたが、上司の「仕事は代わりの人でもできるけれど、父親の代わりは誰にもできない」という言葉がとてもありがたかったです。

期間中はその時々でしか経験できないことばかりで、育児をできることが幸せでした。初めてのことでばかりで大変だと思う暇もありませんでしたが、これが最初で最後かもしれないと思い、やれることはやっておかないと、という気持ちでした。

育児は子どもとのつながりを感じることができ、多くの喜びを経験できる貴重な機会なので、男性の部下にも育休取得を強く勧めたいと思います。今回、育休を取得することができ本当に良かったです。男性が育休を取得することが褒められるような環境ではなく、取得することが当たり前の環境になることを期待しています。



情報システム室 次長 森脇 健治

特集

1

南房総営業所

イチゴ栽培事業における 障がい者雇用の取り組み



大手パティスリー、国内最大手パンメーカーにも納入。 障がいのある人と共につくるイチゴ栽培。

南房総営業所では、障がい者雇用と事業の両立を目指してイチゴ栽培を行っています。物流企業でありながらイチゴ栽培を始めたきっかけから、立ち上げの苦労話、さらに今後のあり方など、南房総

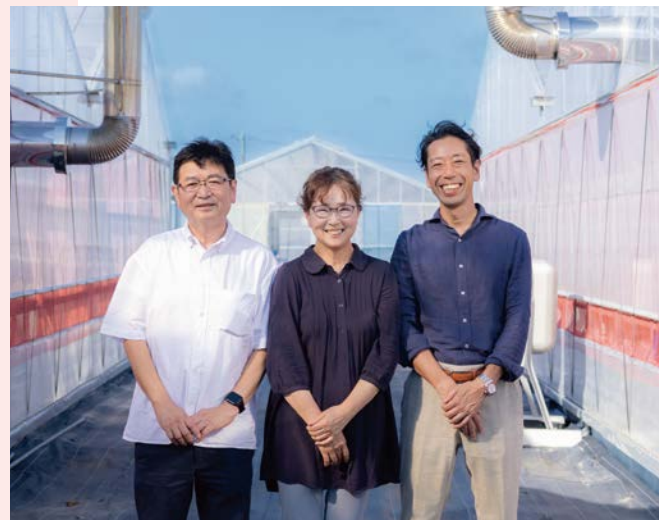
営業所の実方所長、小宮山課長、そして障がい者雇用の観点から多大なご協力をいただいている障害者支援事業所「みつばちワーク」の岡田代表を交えて、お話をお伺いしました。

南房総営業所の事業を紹介してください。

実方 南房総営業所は、2021年8月から千葉県の房総半島の南端で農業生産法人 株式会社 JAS(以下、JAS)の生産方式を取り入れてイチゴ栽培を行い、その中で障がい者の方々を積極的に雇用しています。

小宮山 3年前からイチゴの栽培を始めていますが、設備や人員などの生産体制が整ってきたこともあり、今年は約19トンのイチゴを収穫することができました。イチゴはすべてJASに卸しており、大手パティスリーや国内最大手のパンメーカーにお使いいただいています。

実方 現在、イチゴ栽培に携わるのは7名で、うち4名が障がい者の方です。



実方 寿保

南房総営業所
所長

岡田 真美

障害者支援事業所
みつばちワーク 代表

小宮山 武典

南房総営業所
課長

なぜイチゴ栽培事業を始めたのですか？

実方 お客様の荷物を運ぶだけでなく、自ら運ぶ物を創り出すという考え方があり、当社は運ぶことが価値につながるものとして季節性や地域性を持つ農産物に着目していました。また、農業は福祉と親和性が高いことから、障がい者の方々を雇用する形でイチゴ栽培事業を始めました。

事業の立ち上げは順調でしたか？

小宮山 大阪の物流企業がなぜ南房総で障がい者を雇用して事業を始めるのかという点を地域の方々にご理解いただくことが簡単ではありませんでした。

岡田代表 当時ハローワークにJASと辰巳商会が同時に障がい者の求人を出していて、地域のなかで大阪の物流企業が農業の求人を出していることに対し「障がい者雇用の代行ビジネスではないのか？」という声も上がっていました。私自身も、障がいのある方の人権や意向が尊重され、それぞれの特性に応じた配慮や支援がどこまでなされるのかなど、不安に思ったことを覚えています。

小宮山 当初はこうした状況でしたが、岡田代表の当社活動へのご理解とご協力により、みつばちワークを卒業した方をはじめとした障がい者雇用を進め、現在4名の障がい者の方と一緒に働いています。

岡田代表 関係機関や他の障害者支援事業所の偏見や先入観を払拭するのに時間も労力もかかりましたが、地元のみつばちワークが協力しているので、地域の皆さんの見方も変わってきたと思います。

イチゴの栽培について教えてください。

小宮山 当社のイチゴ栽培は、ビニールハウス2棟、あわせて2,700㎡で行なっています。高設栽培といって、人の目線くらいの高さに棚を設けて栽培します。イチゴの苗は、水や温度、土壌の管理、葉かきや摘果、伸びたツルをカットするランナー取りなどを適切な時期に行くと、1シーズンに何度も実がなります。こうした農法を勉強するため、現在社員1名がイチゴ農家さんで長期にわたり研修を受けています。彼が戻ってくれば、今の栽培方法にさらに改良を加えてくれるのではないかと期待をしています。



障がいのある方たちは、どのような働き方をされているのですか？

小宮山 ここでのイチゴ栽培事業は障がいのある方々と共に働ける場をつくり、地域に根ざした活動をすすめていくことを重視しています。障がい者という一括りで考えるのではなく、それぞれに個性があり、障がいの度合いや特性も違います。週5日働ける方もいれば、週2日がベターな方もいます。個人の意思や体調などを相談しながら、作業が進められる体制を整えています。

岡田代表 農業は障がいのある方にとっても、心身の癒しなどセラピー効果があります。中でもイチゴにまつわる作業はわかりやすく、簡単な作業の繰り返しのため、障がいのある方にもマッチしやすいです。みつばちワークを卒業し辰巳商会で雇用されている方からは、このまま辰巳商会で長く働きたいと聞いています。ご担当の方が、彼らをしっかり支えてくれているからだと感じています。

岡田代表にお聞きます。今後に向けて何かご要望やご提案などございましたらお聞かせください。

岡田代表 数多くの社員の方々が南房総に足を運んでいただけると嬉しいです。この取り組みを通して、多様性の尊重や社会貢献のあり方について考えていただける良い機会になるのではないかと思います。過疎化が進む南房総地域では雇用が減っていますので、障がいのある方が働ける場所を提供していただいている御社は、地域としてありがたい存在になってきています。みつばちワークに通う方々の中には、辰巳商会で働きたいという声もあり、こうした地元の期待に応えていただくためにも障がい者雇用をさらに拡げていただけるとありがたいです。

今後の抱負を教えてください。

小宮山 当社がイチゴ栽培をしていることは知っていても南房総のハウスの規模、生産量など詳しくは知らない社員がほとんどだと思いますので、まずは社内での認知度をあげていきたいです。そのうえで、イチゴのギフトにも力を入れていきたいと考えています。



JASでは大手パティスリーに卸したり、贈答用として道の駅やオンラインショップでも販売をしています。こうした高品質のイチゴを当社のお客様への贈答用にお使いいただけると、美味しいイチゴをご賞味いただきながら、当社の社会的な取り組みもお伝えできると考えています。

実方 イチゴ栽培事業は、南房総、静岡、そしてニュージーランドで進めています。日本産のイチゴは、クオリティが高く海外でも人気があります。設備だけでなく、スタッフの教育やスキルアップに力を入れていますので、3拠点で連携しながら、この事業を安定的で持続的なものにしていきたいと考えています。



人材の価値向上を目指す 辰巳商会の伝統的なプログラム 通関士資格取得支援制度

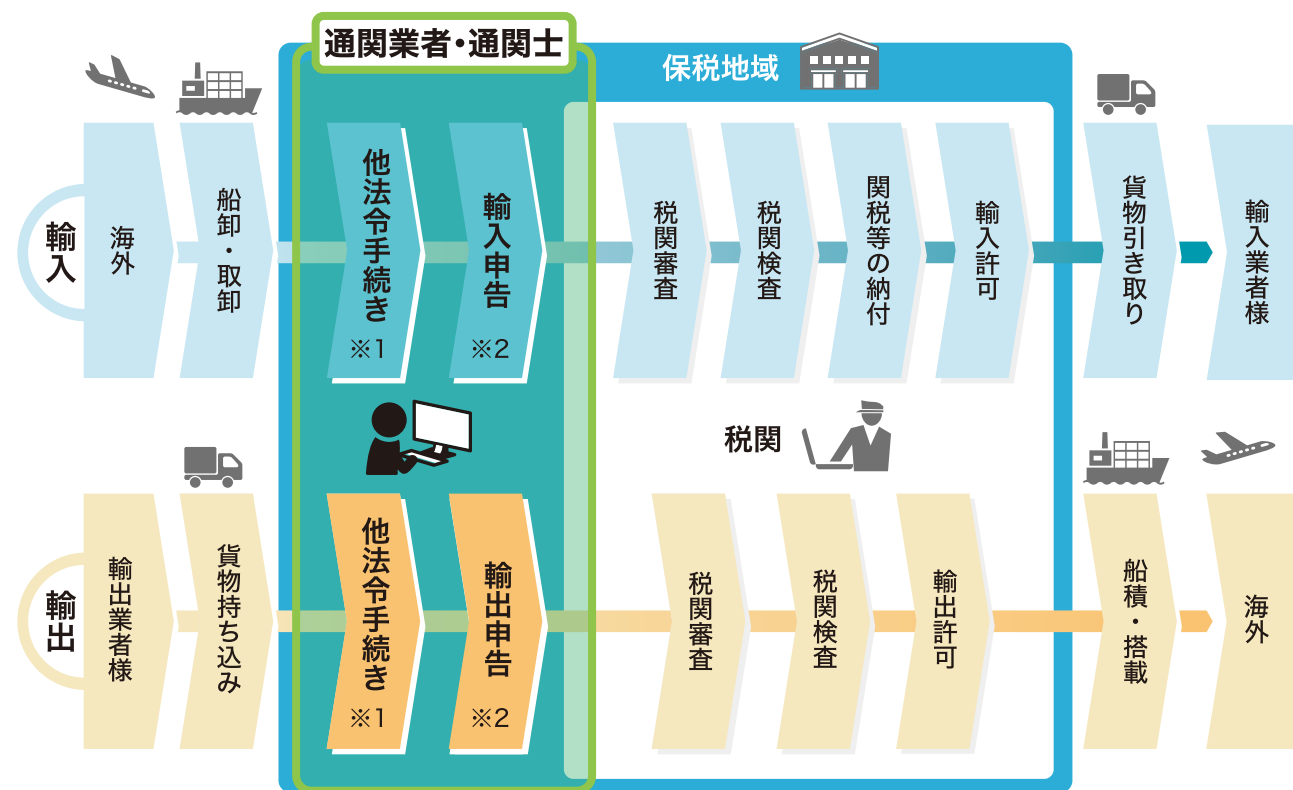
数多くの通関士を輩出してきた資格取得支援制度

通関士は、メーカーや商社などのお客様からご依頼を受けて、税関に輸出入の申告手続きを行う通関のスペシャリストです。国際物流企業として通関業務に従事する辰巳商会にとって、通関士の資格や知識は欠かせません。当社は通関士資格取得に関する独自の支

援制度を設けており、多くの社員の資格取得をサポートしてきました。世界的な物流量の増加もあって現場では通関士の需要が高まりを見せるほか、人的資本経営を推し進めるため、2023年からは通関士資格取得に対する支援を一層強化しています。

辰巳商会における通関士の役割

辰巳商会では、通関業として通関の申告手続きを直接行っている事業部はもちろん、通関士の知識を活かしてお客様への輸出入のご提案や専門的なアドバイスができる体制を整えています。



※1:他法令とは、関税法以外に輸出入に関連するさまざまな法律の通称です。
 ※2:税関への輸出入申告は、通関業の許可を受けた通関業者に所属する通関士によって行われます。

VOICE 2023年 通関士合格者と関係者の生の声

自己完結できる通関のプロを目指して

試験勉強について教えてください。

私は2023年に通関士資格取得の支援制度を利用しました。勉強を始めたのは1月で、講座が始まったのが4月です。勉強は過去の試験問題を解くことをメインにして、わからないところを教材等で理解するようにしていました。試験は通関業法・関税法・通関実務の3科目がありますが、関税法の範囲が広く問題も一番多いため、そこを中心に勉強しました。私が所属する部署には、通関士の資格を持つ上司が複数人いらして仕事が多忙なときでも質問すると丁寧に教えていただいたことに感謝しています。

受講の動機は？

配属されたとき関空営業所は私を含めて5人体制で、そのうち3人が通関士でした。少ない人数で通関業務をされていて、とても大変そうだったので通関士の資格を取得して早く戦力になりたいと思い、勉強を始めました。その思いが通じたのか初受験で試験に合格できました。

資格を取得して変わったことは？

資格を取得したことで、通関業務に対する理解が深まりました。現在は上司と一緒に通関業務を行うことが多いため、1人で最初から最後まで行えるようになることが目標です。



2023年 通関士合格
航空貨物部(関空)
星野 由衣

資格取得で仕事にいっそうの自信

試験勉強について教えてください。

最初に支援制度を利用したのは2019年でしたが、その時は仕事が忙しく講座が始まって2〜3ヶ月で断念しました。新型コロナウイルス感染症のパンデミックが続いていた2022年、仕事が落ち着いていたこともあり通関士試験の勉強を支援制度を利用せずに始めました。土日など休みの日に自宅で目標を決めて勉強しましたが、初めての試験は1点足りず不合格に。翌年の2023年で必ず合格すると心に決め、再び支援制度を利用。宿題を提出すると点数やフィードバックのほか、他の受講者の状況が数字で見えるのでモチベーションになりました。講師の坂本さんがメールで励ましてくださるのも心強かったです。

受講の動機は？

複合輸送部門のフォワーディング業務がメインで、国際貿易取引条件の基本的なタームを全て見えています。通関に絡む見積もりや案件に対するお客様からの質問に戸惑うこともあり、通関の知識を深めるために勉強しようと決めました。



2023年 通関士合格
倉庫部(東京支社)
新井 沙苗

資格を取得して変わったことは？
 通関業務に対する知識や理解度が上がると、自分で見積書を作れますし提案もしやすくなります。お客様からの信頼度も上がり、仕事により自信を持てるようになりました。

伝統ある支援制度を一層強化

当社は通関士資格取得の講座を長年にわたり続けています。通関士試験が毎年10月に実施されるのに合わせ、講座は4月から9月まで合計21回行います。受講者には事前に過去の試験問題集や教材等を配布します。毎週決められた分野の問題集を資料をもとに回答して提出してもらい、こちらでチェックしコメントを添えて返却しています。

当社では2023年から通関士の養成を一層強化しています。2024年はグループ企業を含めて30名が受講しており、一人でも多く合格できるようサポートしています。



通関士講座社内講師役
複合輸送本部
本部長付調査役
坂本 嘉孝

通関士は税関にとって同志のような立場



税関職員
財務省 大阪税関
業務部 首席通関業監督官
垣内 清和 様

通関士の方には、輸出入者の通関に関する手続きをサポートし、適法な申告に尽力いただいています。税関からすると通関士は同志のような立場だと思います。通関士の方々は幅広い商品知識と様々な分野の法律制限等を把握されています。その内容は年々変わりますし、世界で戦争などが起きると経済安全保障の観点から輸出制限の項目等が月単位、週単位で変わることもあります。そうした状況に対応するためにも、辰巳商会が通関士を自社で養成され通関の知識をお持ちの方が増えることは、税関にとってもありがたいことです。

特集

3

女性社員クロストーク

女性が活躍できる 環境づくりの今とこれから

当社ではこれまで、人事制度や福利厚生など、様々な観点から女性がより働きやすく、活躍できるように環境を整えてきました。2025年度からは新人事制度が施行され、個々の望むライフスタイルやキャリア形成に、より合うかたちでの働き方が選択できるようになります。今回は、部署もライフステージも異なる4人の女性社員に、それぞれの立場から感じる、働きやすさや仕事のやりがい、これからの展望などについて語っていただきました。



山口 萌々子
経理部
一般職
(2015年入社)

西川 真理子
港運部
一般職
(2006年入社)

伊川 碧
倉庫部(本社)
一般職
(2022年入社)

松本 めぐみ
陸運部
総合職
(2008年入社)

インタビュー
井上 寧々
CSR推進室
一般職
(2023年入社)

それぞれの部署での“働きやすさ”への工夫

井上 自己紹介として、所属部署と日頃感じられている仕事のやりがいなどをお話いただけますでしょうか。



西川 私は港運部で輸入品の貿易事務を担当しています。日用品や食品の中には、輸入しないと手に入らないものが多くあります。仕事が人々の暮らしと直結しているところにやりがいを感じています。

山口 経理部で、経理事務の仕事をしています。伝票の照査業務や資料の作成など業務内容は幅広く、その時々で仕事の優先順位を決めてこなしていくことに達成感を感じています。

松本 陸運部の桜島車庫に所属し、総合職として労務を担当しています。従業員の給与計算や労働時間の管理など、法的な知識がなければできない業務も多く、日々が学びだと感じています。

伊川 私は倉庫部で、船の貨物の輸出入の事務をしています。輸出入先は世界各国にわたり、世界情勢や気候変動などが仕事に大きく影響します。遠く離れた国で起こっていることも、すべて私たちの生活に密接に関係していると実感しています。

井上 入社年やライフステージ、所属部署も異なる皆さんですが、どのような点が女性にとって働きやすいと感じられますか？

山口 はい。個人の努力がきちんと評価される会社だと感じています。物流会社という男性が多く活躍されるイメージがありましたが、

入社してみると女性の割合が思ったより高く、第一線で活躍されている女性先輩社員が多くいらっしゃることを心強く感じています。

松本 私は管理職に就きながら、子育てのため時短勤務中です。女性には特に出産や子育てなど、人生において様々なライフイベントを経験しますが、キャリアをあきらめることなく、その時々合った働き方が認められていると感じています。また、私の所属する陸運部は、業務上必要な国家資格がたくさんあり、男女関係なく多くの社員が資格取得を目指していて、常にチャレンジしようという雰囲気部署内にあると思います。



西川 港運部では、以前は多くの女性社員が結婚や出産のタイミングで退職されていました。10年ほど前に一人の先輩社員が、産休・育休から復帰されて以来、今では私を含め、ほとんどの人が産後も仕事を続けることができています。また社員運動会や旅行など、仕事以外でも社員同士が交流したり、家族を紹介し合う機会があります。お互いの理解がより深まり、仕事の続けやすさにつながっていると感じています。

伊川 私の所属する倉庫部では、残業がほとんどありません。ほぼ毎日定時で仕事を終え、帰宅できるため、子育て中でも働きやすい環境だと思います。

キャリアもプライベートも、より充実させるために

井上 皆さんは福利厚生制度やサポートをどのように活用されていますか？また、仕事と生活の両立についてどうお考えですか？

西川 伊川さんの話でいうと、今、私は時短勤務中なので残業はしていませんが、あと数年で時短勤務期間が終わりフルタイム勤務に戻る予定です。そうすると今の部署で子育てと仕事の両立はできるのか、今から少し不安です。ただ改善されている点も多く、特に「時間有休制度」が整ったのはありがたいです。午前中は仕事をして、午後から時間有休を取って子どもの学校行事に参加するなど、とても使いやすくなりました。



山口 それはいいですね。私は現在妊娠しており、体調が不安なことも多く、復職後のことを考えても、働き方の選択肢が増えれば嬉しいですね。

伊川 私もそう思います。同じ部署に産休に入られた先輩がいるのですが、妊娠中、体調が不安定な時期もあったようで心配でした。妊娠や子育て、介護など、それぞれの事情と働き方を合わせることができれば、より働きやすくなると思いました。

松本 そうですね。選択肢が増えれば、より働き方の幅が広がると思います。私生活も無理をすることなく、仕事でもどんどんチャレンジできるような職場の雰囲気や制度が充実すればいいですね。

**女性社員がより果敢にチャレンジできる土壌を
井上** 当社では、来年度から新人事制度も始まり、より柔軟で自律的なキャリア形成ができる環境が整います。これからのご自身の成長に向けて、それぞれの想いをお聞かせいただけますか。

山口 私は今後、産休・育休に入り、復帰後しばらくは時短勤務になる予定です。生活スタイルも大きく変わりますが、経理部には子育てをしながら働いている先輩も多いので、アドバイスなどをいただきながら仕事を続けたいと思っています。復帰後も同じように挑戦する姿勢を持ち続けることが、今の目標です。

伊川 新人事制度の評価基準に、ビジネス・キャリア検定が取り入れられると聞きました。今、ロジスティクス分野の資格を持っているので、他にも自分が興味のある分野を見つけて勉強していきたいと思っています。



西川 私も資格に挑戦したいと思っています。新人事制度では、総合職と一般職の間での転換制度が導入され、さらに総合職の中でも、転居や転勤の伴わない「総合職(地域限定型)」や「総合職(専門領域型)」という職種ができると聞いています。男女かわらず、より柔軟なキャリア形成ができるようになるのはいいことです。

伊川 私が実際に就職活動をしていた時も、希望する会社にも、地域職や専門職があるかを気にする友人が多かったです。今後、当社に興味を持ってくれる学生が増えるのではないかと思います。

松本 そうなんですね。新人事制度が、総合職として働く女性が増えるきっかけになれば嬉しいです。実際、当社には、有能な女性社員が多くいます。今後、さらに女性が活躍しやすい環境となり、次の世代へつなげられればいいなと考えています。



井上 こうして部署の垣根を越えて語り合うと、見えてくることも多いですね。これからも一人の社員として、女性として向上心を持って仕事に取り組んでいきたいです。本日はありがとうございました。

マテリアリティ

04



地域社会

地域の人々とともに

当社は創業時から地域との関わりを大切にしてきました。創業者である四宮忠蔵は、戦後の経済的貧困が蔓延する中で、その影響を直接受けている子どもたちや生活困窮者の救済にも力を注ぎ、奨学会や養護施設の設立、生活困窮者の自立更生施設の設立運営にも携わってきました。その意志を受け継ぎ、これからも地域とともに成長できる企業でありたいと考えています。



具体的な取り組み

大阪市立中央図書館への図書等の寄贈・ネーミングライツパートナー協定を継続

当社100周年記念の地域貢献事業として大阪市立中央図書館とネーミングライツパートナー協定を締結し、2019年10月から大阪市立中央図書館の愛称を「辰巳商会中央図書館」としていただいています。以来学習図書やコミックス、イベント時に使用するスピーカー

などの館内設備を寄贈しています。学習図書においては2,000冊を超えるまでになりました。次回は2024年12月の寄贈を予定しています。

ネーミングライツパートナー協定を2019年より継続



2019年10月にネーミングライツパートナー協定を締結。大阪市立中央図書館の愛称を「辰巳商会中央図書館」に

図書や館内設備を継続的に寄贈



これまでに学習図書
2,000冊以上を寄贈



2,400人以上の学生を支援してきた四宮育英奨学会事業

1954年、辰巳商会創業35年記念事業の一つとして、創業者四宮忠蔵拠出の基金を原資とする「四宮育英奨学会」を設立しました。現在、公益財団法人となった四宮育英奨学会では、辰巳商会グループや有志からの寄付を運営の原資とし、経済的な支援を必要とする高校生と大学生に公募を行い、返還義務のない給付型奨学金にて修学補助を続けています。毎年、高校生約30名、大学生約80名に対する給付を行っており、年間の給付総額は2,000万円強に上っています。

四宮育英奨学会事務局より

夢や目標を持ちながら、さまざまな事情で進学を断念せざるを得ない学生の方に手を差し伸べたいという気持ちから活動を続け、2024年までに支援した人数は2,400人以上に上ります。こうした活動に対して奨学生の方から感謝の手紙が届いたり、大阪市や大学からも感謝状をいただきました。2025年からは新たな制度も創設し、進学を志す学生の思いに寄り添い、夢を支える活動を継続していきます。

給付型
奨学金

給付対象	各年給付人数	月額給付金額
大学生	25名程度	20,000円
高校生	10名程度	12,000円



募集要項などをWebサイトで公開しています

四宮育英奨学会ホームページ
<http://www.shinomiyaikuei.or.jp>



TOPICS

当社の船員を多数輩出する 熊本県上天草市への取り組み

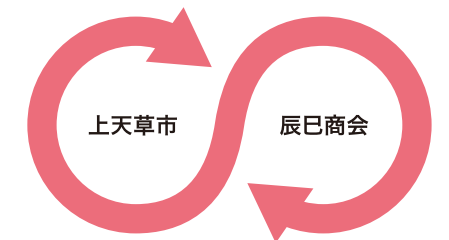
有明海と八代海が接する天草地域の玄関口に位置する熊本県上天草市とは、創業者の時代から親交があり、辰巳商会の船員を多数輩出してきた歴史があります。近年の人口減少や若者の地方離れが進むなか、上天草市における内航海運業の維持発展に寄与しています。

上天草市に企業版ふるさと納税を実施

上天草市の企業版ふるさと納税制度を利用し、地方創生事業「海運業の振興と担い手の育成」への寄付を行いました。市内の海運事業者様の経営安定と船舶の船員不足解消のための取り組みを支援しています。



上天草市企業版ふるさと納税 感謝状贈呈式



創業時から縁のある町

「夢はこぶ学習帳」を600冊寄贈

企業版ふるさと納税の寄付とあわせて、当社がオリジナル作製した「夢はこぶ学習帳」600冊を上天草市に寄贈し、市内にある小学校11校の4～6年生に配布されました。



夢はこぶ学習帳

マテリアリティ

05



コンプライアンス

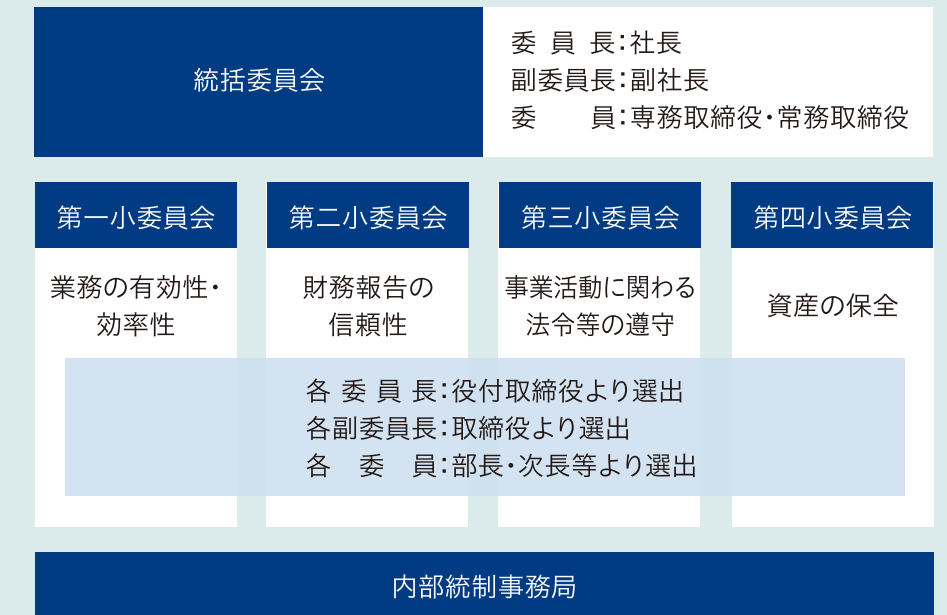
信頼を守り続けるということ

コンプライアンスや企業倫理は会社を支える基盤となるものです。当社では人権方針に則り、ハラスメントや差別を防止し、内部統制システムやガバナンスを強化して、社員が安心して最大限のパフォーマンスが発揮できる体制づくりを進めています。



内部統制システムの整備

内部統制システムの整備とガバナンス体制の強化を目的として、内部統制委員会を設置しています。社長が委員長を務める統括委員会と目的ごとの4つの小委員会の構成となっており、役員・各部長・次長クラスの社員より委員を選出しています。小委員会は各部を横断した全社組織であることを活かして、それぞれ設定した課題に取り組んでいます。



具体的な取り組み

人権尊重への取り組み

人権方針の制定

当社は、4つの基本理念(1.安全はすべてに優先する、2.お得意先への報恩感謝、3.従業員の福祉の向上、4.地域社会への貢献)を掲げて、企業経営を行っています。この基本理念を実現する前提となる人権方針を制定し、人権を尊重した事業活動を通じて、持続可能で豊かな社会の実現を目指しています。

人権デュー・ディリジェンスの具体的なプロセス

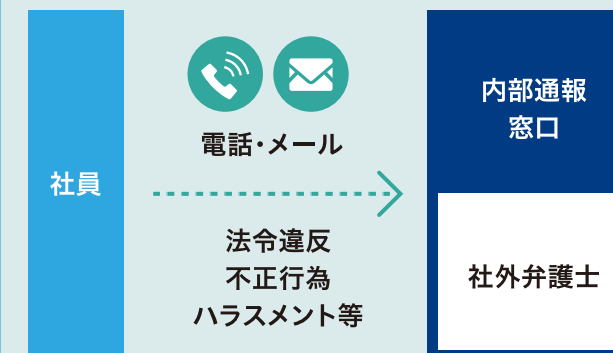
事業活動等で生じる人権侵害を特定し、防止や軽減措置を図り、取り組みの実効性について説明・情報開示をする人権デュー・ディリジェンスのプロセス構築を進めています。

辰巳商会 人権方針



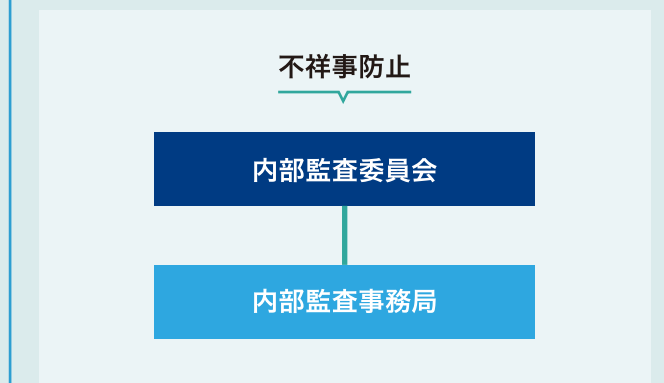
内部通報窓口の運用

社内発生している法令違反や不正行為、ハラスメントなどを通報する窓口を社外弁護士の事務所に設けています。公益通報者保護法に基づいて社内規程を作成し、電話やメールで通報を受け付ける体制を整えています。



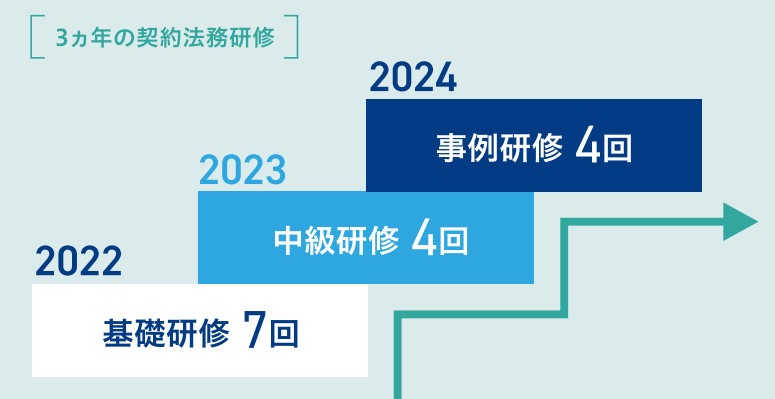
内部監査委員会、事務局の設置

社内の内部通報窓口に加え、不祥事を未然に防止することを目的として、2024年6月内部監査委員会を、その下部に内部監査事務局を設置しています。



契約法務研修の実施

全社員を対象としたWEB形式での契約法務研修を2022年より実施しています。2022年は基礎研修を全7回、2023年は基礎研修を発展させた中級研修を全4回行い、2024年はより契約書に即したレビュー事例研修を全4回にわたって開催します。このように発展型の契約法務研修を実施し、社員の契約関連の理解促進を図ります。



マテリアリティ

06



技術革新

次世代の物流をめざして

当社ではデジタル技術を活用して物流の新たなビジネスモデルづくりを推進するとともに、業務プロセスにおいてもDX化を推進しています。ビジネス環境の変化に柔軟に対応できるだけでなく、社会インフラである物流を担う企業として、災害時の事業継続の面からも新たなシステム構築に取り組んでいます。

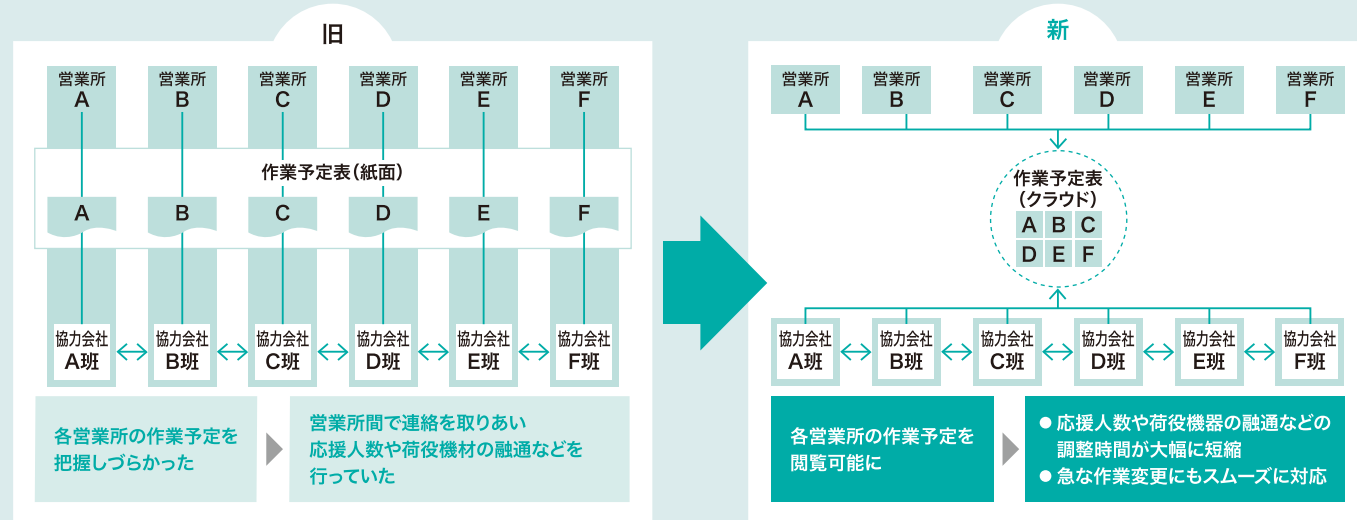


具体的な取り組み

クラウド型作業予定共有システムの構築

南港外貿ターミナルなど6つの営業所では2022年10月より作業予定表をクラウド化しています。これまで協力会社への作業通知は各営業所ごとに紙の作業予定表で行っていました。営業所間での人材応援や荷役機材の融通が必要な時は、営業所ごとに連絡を取り合っていましたが、6営業所の状況を1つ1つ確認する調整作業は非効率な上、急な作業変更への対応はさらに煩雑になっていました。

当社の社員が中心となって構築したクラウド型作業表は、いずれの営業所からでもリアルタイムで閲覧できるため、調整作業が大幅に短縮できるほか、各営業所で同時編集が可能であり、更新作業もスムーズに行えます。今後、同じような課題を抱える他の営業所にも展開できるか検討を進めています。



社内システムのDX化を推進

当社では社内システムをデジタル技術を活用した新システムへの移行を進めています。現在運用がスタートしている新会計システムは、会計処理に伴うすべての作業がオンライン化されペーパーレスになったため、伝票の印刷や押印、郵送といった作業が不要になり、業務効率が高まりました。さらに、災害時の事業継続や法改正とい

ったビジネス環境の変化への対応力も大幅に向上しています。その他、個人の経費を精算するための支出管理プラットフォームの導入や人事・給与システムも稼働を始めるなどDX化を推進し業務のさらなる効率化を目指しています。

会社概要



社名	株式会社辰巳商会
創立	大正9年9月28日
本社所在地	大阪市港区築港4丁目1番1号
資本金	7億5千万円
売上高(グループ全体)	1,983億円(2023年度)
従業員数(グループ全体)	3,295名(2023年度)

国内グループ会社

深田サルベージ建設株式会社	大阪荷役株式会社
東南興産株式会社	東南海運株式会社
辰巳ロジフォート株式会社	玄海汽船株式会社
大阪港振興株式会社	株式会社阪神 SHIPPING
株式会社セントラル・コールド・ストレージ	鈴鹿海運株式会社
辰巳物流株式会社	辰巳運輸株式会社
関西化成品輸送株式会社	国華産業株式会社
北辰倉庫運輸株式会社	株式会社トーシン
ティー・エム・ターミナル株式会社	コーラル SHIPPING 株式会社
敦賀ターミナル株式会社	大阪港総合流通センター株式会社
辰巳マリン株式会社	小名浜石油株式会社
三翔海運株式会社	

役員体制

代表取締役会長	溝江 輝美	
代表取締役社長	西 豊樹	
取締役副社長	香林 大介	東京支社長 兼 内部統制担当
専務取締役	太田 英之	複合輸送本部長
常務取締役	芳本 卓	管理本部長、経理部長 兼 情報システム担当
常務取締役	四宮 明	東京支社副支社長 兼 海運本部長
取締役	田中 宏征	航空貨物部長
取締役	西野 敏	CSR、安全衛生、危機管理 兼 内部監査担当
取締役	高嶋 寿夫	港運部長
取締役	北川 健人	陸運部長
取締役	福森 直明	海外関連事業部長
取締役	須賀 雄一	東京支社倉庫部長
取締役	土屋 正雄	海運部長
取締役	梅舎 督司	プラント部長
取締役	白石 徹	総務部長
取締役	森本 顕	本社倉庫部長
監査役	橋本 一孝	常勤監査役
監査役	鈴鹿 良夫	社外監査役
監査役	石井 啓之	社外監査役

海外グループ会社

TATSUMI INTERMODAL(U.S.A.) INC.
TATSUMI EUROPE B.V.
TATSUMI SHOKAI(M) SDN. BHD.
TATSUMI VIETNAM CO.,LTD.
TATSUMI SHOKAI (THAILAND) CO.,LTD.
TATSUMI LOGISTICS (THAILAND) CO.,LTD.
MC SIAM LOGISTICS CO.,LTD.
SIAM TANK TERMINALS CO.,LTD.
PT. TATSUMI SERUNI INDONESIA
TATSUMI SHOKAI (S) PTE LTD
PT. DHARMA KARYA PERDANA
TATSUMI MARINE (S) PTE LTD
PT. CIPTA SAMUDERA SHIPPING LINE
TATSUMI NEW ZEALAND LIMITED

編集後記

辰巳商会CSRレポート2024をご覧いただきましてありがとうございます。持続可能な社会の実現に向けた総合物流企業としての取り組みを6つのマテリアリティとにご紹介しました。3つの特集では当社のカラーや企業姿勢を感じていただけるよう、社員にフォーカスしインタビューや対談記事を中心にまとめました。これからも、お客様やお取引

先様、地域の方々などステークホルダーの皆様と共に歩み、企業としての社会的責任を果たしていきます。本レポートが、当社の社会課題解決に向けた姿勢をご理解いただく一助となれば幸いです。引き続き、辰巳商会をよろしくお願いいたします。

取締役 CSR、安全衛生、危機管理 兼 内部監査担当 **西野 敏**